

N	O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
104		理 科	科学と人間生活	2	必修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材		
1	なし	なし	実教出版 科学と人間生活 実教出版 学習ノート 科学と人間生活		
目 標					
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
知識及び技能		思考力、判断力、表現力		学びに向かう力、人間性	
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。		観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。		自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	
単 元 ・ 作 品 名		学 習 内 容		到 達 度 目 標	
前 期	科学と技術の発展	・科学と技術の始まり ・海 ・土		科学技術の発展について、科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて、および 科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現する。	
	物質の科学	・材料とその際利用 ・食品と医療		身近な材料に関して、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解する。 衣料と食品に関して、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解する。	
	生命の科学	・ヒトの生命現象 ・微生物とその利用		ヒトの生命現象に関して、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する。 微生物にして、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解する。	
	光や熱の化学	・熱の性質とその利用 ・光の性質とその利用		熱に関して、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。 光に関して、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解する。	
後 期	宇宙や地球の科学	・太陽と地球 ・身近な自然景観と自然災害		天体に関して、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解する。 自然景観と自然災害に関して、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解する。	
	これからの科学と人間生活	・これからの科学・技術と人間		課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深める。また、これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現する。	
取得可能な検定や資格					
なし					